



## 当たり前の日々に 感謝をして

被害者支援・相談課 犯罪被害給付係  
平成23年採用 主任主事  
西南学院大学 卒業

### 警察行政職員になったきっかけは？

大学生になり、まず就職活動を始める前に、企業にするのか公務員にするのかを選択する際、これからの人生、自分の大切な人達に何かあったときに役に立つ職種は何だろうと考えました。そして、警察という仕事に興味を持つようになり、警察行政職員を目指すことに決めました。警察行政職員は、警察官と比べて表立った仕事は少ないかもしれませんが、警察官と共に勤務し、所属によっては、警察官と同じ仕事をする場合もあると思ったからです。

### 現在の仕事について教えてください！

私は、犯罪被害給付係として、犯罪被害給付制度に関する業務を行っています。犯罪被害給付制度というのは、犯罪被害に遭われた被害者やご遺族に対して、国が給付金を支給し、精神的・経済的負担を少しでも緩和できるように支援する制度です。主な仕事は、被害者やご遺族の方と直接やりとりをしながら、給付金の申請受付や給付のための調査などを行い、被害者やご遺族に給付金が支給されるまでの事務手続きを国に代わって行っています。警察行政の仕事の中でも、犯罪と直接向き合うような仕事は少ないですが、この係は被害者やご遺族と接する機会が多いため、毎日が緊張の連続です。警察行政職員という立場で何ができるのか、日々勉強させて頂いています。

### 印象に残っているエピソードを教えてください。

被害者にお会いした際、「警察は敷居が高く、捜査機関というイメージを持っていましたが、警察にもあなた達のような方々がいらっしゃるんですね。安心しました。」などと、感謝の言葉をいただいたとき、被害者の方の不安を少しでも軽減できたかな、被害者支援に関わってよかったなと思います。

また、被害に遭った事実と正面から向き合っているご家族の話を直に聞き、「当たり前で過ごす毎日が奇跡の連続で、感謝の気持ちを忘れてはならない。そして、皆が笑顔で過ごせるように頑張っていかなければならない。」と、日常の大切さに改めて気付かされました。

### 警察行政職員を目指す方にメッセージをお願いします。

警察という職種を選択する理由は、皆さんそれぞれあると思いますが、どんな仕事を選択するにしても、自分がどうしてこの仕事に付きたいのか、自分の中でぶれない芯を持って欲しいと思います。警察行政職員として、みなさんと一緒に働ける日を楽しみにしています。